

活動名「2024ザリガニ釣り・自然観察体験会」

1. 日時 令和6年7月14日(日) 8時～13時



2. 場所 福井市清水東公民館

3. 内容 ザリガニ釣り体験、ビオトープ見学、散策、レクリエーションゲーム

4. 参加人数 64名

5. 活動の様子

昨年はザリガニの生息が極端に少なく、ほとんどの参加者が体験することが出来ずに終わってしまったことから、今年こそはと昨年のリベンジと称して再企画した。環境アドバイザーの矢村先生がビオトープを事前に調査。その結果ザリガニが完全に生息していないことに気づき、その対策として前もってザリガニを近くの用水から準備してくださった。たらいの中からザリガニを釣り上げる体験となったが、逆に真近でザリガニに触れることで子どもたちは歓声を上げて大いに喜んでいった。ザリガニを初めてみる子どもも多く、実際に触ったりつかんだり、お腹の観察をしたりじっくりと楽しむことが出来た。その他に近くの小川に生き物の採集にも行き、その場で矢村先生の解説を聞くことができ、子どもたちは生き物のおもしろさを楽しんでいた。

地元公民館では飲食禁止の措置が続いていることも有り、子どもたちと育てた作物が調理できない状況が続いていたため、清水東公民館にて念願の収穫の喜びを分かち合った。自分でクッキングをすることにより育てたじゃがいもに愛着を持って楽しんでいた。



釣れたよ!



自分で育てたじゃがいもクッキング



小川の生き物の観察もしました

6. 事業の成果

昨年の状況を考慮し前もってビオトープを調査。その結果ザリガニの生息が皆無ということがわかったことで、矢村先生からのウシガエルがビオトープに入ってきたことが大きな原因という話を通し、体験しながら生き物の生態形について学習することが出来た。子どもたちは驚きをもって自然界のきびしさを感じていたようだった。ザリガニに触れ親しむという体験は順化地区ではなかなかできないことで、地域の方々との触れ合いの有意義な時間ともなっていた。また子どもたちが育てたじゃがいもを使ってのクッキングは収穫の喜びと共にジュニアリーダーとのふれあいも多く楽しく交流できた。参加した子どもたちにとって、ジュニアはかっこいいお兄さんお姉さんに映っていたことだろうと期待する。